



丸亀城フェスタ2010 10月17日開催

9月定例会
9月1日～17日

主な内容

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ● 本会議のあらまし …………… 2 | ● 一般質問 …………… 4～10 |
| ● 決算委員名簿 …………… 2 | ● 委員会審査 …………… 11 |
| ● 質疑 …………… 3 | ● 審議した議案とその結果 …………… 12 |

9月定例会

総合整備計画の策定(本島町辺地)^{ほか}

原案の通り可決

本会議の あらまし

9月定例会は、1日から17日まで17日間の会期で開かれました。

1日は、平成21年度の決算認定議案が上程され、一般会計及



起立採決の結果、原案の通り可決

び各特別会計(委員10名)、企業会計(委員9名)の決算特別委員会を設置し、閉会中も継続して審査することになりました。

続いて、議案第62号から議案第74号までを一括議題とし、市長から提案理由の説明がありました。

3日は、議案第62号から議案第74号までについて、3名が質疑を行いました。

6日・7日・8日・9日は、市政全般について、17名が一般質問に立ちました。

10日に生活環境、教育民生、13日に総務、都市経済の各委員会で、それぞれ所管事項について議案審査が行われました。

17日の最終日は、委員会に付託していた議案の審査結果について、各委員長からいずれも原案承認の報告がありました。3名が反対、賛成の討論を行い、

起立採決の結果、賛成多数でいずれも原案を可決しました。続いて、議案第75号及び議案第76号を審議し、討論はなく、原案を可決しました。

以上で、今期定例会は閉会しました。

討論

中谷真裕美

①一般会計補正予算(議会費) ②競艇事業会計補正予算 ③議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正(①③に反対)

横田 隼人

①全議案に賛成

国方 功夫

①競艇事業会計補正予算(①に反対)

決算

決算特別委員会設置
閉会中の継続審査に

各委員会の委員には、次の議員を選びました。

(◎委員長 ○副委員長)

一般会計及び各特別会計
決算特別委員会

◎小橋 清信 ○片山 圭之
三宅 真弓 浜西 和夫
山本 直久 横田 隼人
尾崎淳一郎 松浦 正武
長友 安広 倉本 清一

企業会計
決算特別委員会

◎横川 重行 ○福部 正人
吉本 一幸 松永 恭二
多田 光廣 大前 誠治
高木 康光 国方 功夫
三木 まり
審査結果は、12月定例会で委員長が報告します。

質疑

質問者・項目

太字の項目は本文中に
要約文を掲載

三木 まり

- ①一般会計補正予算（安全・安心まちづくり推進事業、かがわこどもの駅設置推進事業）
- ②市営住宅設置及び管理条例の一部改正
- ③市民会館条例の一部改正

防犯灯のLED化 今後の展開は

三木議員 安全・安心まちづくり推進事業により、防犯灯のLED化を実施するための補正予算が、今議会で計上されている。城北、城乾、土器、城坤の4地区をモデル地区として実施するようだが、地区選定の経緯を伺いたい。市全域を対象としてこそ、効果が上がると考えるが、今後どのように展開していく計画か。

A 生活環境部長 この事業は、香川県警察本部の補助金を受け

倉本 清一

- ①一般会計補正予算（地方交付税、臨時財政対策債）②一般会計補正予算（補助対象航路既存使用船舶購入事業）、総合整備計画の策定（本島町辺地、広島町辺地及び広島町小手島辺地）

尾崎淳一郎

- ①一般会計補正予算（岡田小仮設校舎建設事業）②コミュニティバス運行条例の一部改正
- ③市民会館条例の一部改正

て、自主防犯パトロールのための装備品の配布や防犯灯のLED化等により、地域の安全確保に取り組んでいくものである。今回は、自治会やコミュニティが中心となり自主防犯パトロールを実施している地域でかつ、丸亀駅前交番、土器交番、城坤駐在所所轄の地域を選定した。県警からも、事業効果が薄れないよう重点的に助成するよう指導があり、実施地域を絞り込んだところである。市全域での取り組みについては、事業の検証を行い、地域コミュニティとも協議する中で、検討していきたい。

辺地計画の策定

どういった内容か

倉本議員 今議会で示された

辺地総合整備計画は、辺地地域に公共的施設を計画的に整備し、地域間の生活水準の格差を是正するものである。この計画は、離島にかかる補正予算議案にも大きく関わるようだが、どのような内容か。計画策定に当たり、市民の意見を聴取していないが、なぜなのか。

A 生活環境部長 辺地総合整備計画を定めた市町村は、辺地対策事業債による財政上の支援を受けられる。今回の計画は、離島における島民の足を確保するためであり、今議案に提案している本島航路旅客船の購入費もこの事業債を充当する。以前より島民から強い要望があったことや時間的な制約から、今回は意見聴取を行っていないが、市民の意見を反映している総合計画と連動して進めていきたい。

※辺地とは……他の地域に比べ交通や経済等の諸条件に恵まれない、山間地、離島などへんびな地域

コミュニティバス

条例改正について

尾崎議員 コミュニティバス

運行条例の改正案について、次のことを伺いたい。①通学者や通勤者の定期券が新たに加わるが、学生や通勤者の利用実態調査はしたのか②新しい定期券は、どのくらいの需要を見込んでいるのか③運転免許返納者の運賃が半額になるが、どうやって返納を確認するのか④この制度の周知方法について。

A 生活環境部長 ①通勤通学時間帯は利用者が多いため、車内における実態調査は困難であり、実施していない②平成21年度の定期券の購入実績は169枚だが、今回利用実態に見合った定期券をつくることで、それを上回る需要を見込んでいる③運転免許を自主返納した人には、県公安委員会から申請による免許証取消通知書が交付される。また、生活課でもコミュニティバス乗車証を発行する。これらをバス降車時に示せば、運賃が半額になる④広報丸亀や市ホームページ、コミュニティや老人会を通じて周知する。

などへんびな地域

一般質問

質問者・項目

太字の項目は本文中に要約文を掲載

浜西 和夫

①第一次行革の総括と第二次行革の取り組み②小中一貫教育③保育所民営化方針（社会福祉協議会による民営化）

三宅 真弓

①幼稚園給食及び給食残菜率②地域活動とプライバシー③丸亀市水道ビジョン

藤田 伸二

①保育士の採用と社協方式による保育所民営化②合併時の降任人事と公平委員会の対応

長友 安広

①飯山地域における幼稚園の将来展望②新規就農と支援策

高木 康光

①財政健全化計画②総合運動公園整備及び周辺整備

三木 まり

①消防・防災体制の強化と充実②交通安全対策③各種会議のあり方と各部署の連携

横田 隼人

①防犯灯電気代の無償化②産

業振興③定住自立圏構想

倉本 清一

①塩屋保育所の新築移転②住宅用火災警報器の設置状況

内田 俊英

①学校図書館の充実②マタニティマークの適用拡大③地域主権時代の市役所機構改革

中谷真裕美

①高齢者福祉②学校教育の諸課題③学校給食における諸課題

片山 圭之

①参議院選挙の結果が本市に与える影響と今後の対応策②公営競技場としての丸亀ボート場の経営③閉塞感のある今こそ郷里の宰相大平構想に学ぼう

加藤 正員

①緑の分権改革推進事業②健康生きがい中核事業③小中一貫校

松浦 正武

①学校給食と食育②耕作放棄地対策③熱中症対策

横川 重行

①放課後子どもプラン事業②

ファミリーサポートセンター事業③地域子育て支援拠点事業④児童虐待⑤行方不明・住所不明者の対応⑥病害虫・鳥獣等の発生

福部 正人

①うつ病対策の広報活動②放課後子ども教室の拡充③環境配慮契約④生ごみの堆肥化

尾崎淳一郎

①鳥獣被害の現状と対策②社会福祉協議会による保育所民営化③生活保護行政

国方 功夫

①カメムシ対策②市営住宅の管理と運営③学校施設のあり方と対策④市営野球場の設計における考え方⑤競艇場の設計を変更していない理由

行政改革の成果と今後の取り組み

浜西議員

①平成17年度から5年間の第一次行政改革は、125億円の効果額を出し、大いに評価するが、計画通りに進まなかった事業もある。これまでの取り組みをどう評価し、次の行革に生かしていくのか②行政

評価に導入している外部評価に、今年度から事業仕分けの手法を一部取り入れたが、どのような方法で実施しているのか③市役所内の組織の見直しについて、議会内会派からも具体的な要望を出している。市長はどのように考えているのか。

A市長

①歳出削減や歳入確保による効果額に加え、民間委託など効率的な行政運営を進めることで、持続可能な自治体運営の基礎が築けたと考えている。しかし、今後の景気動向や国の財源措置などが不透明なため、引き続き財政基盤の強化に努める。次の行革では、財政健全化という量的改革を継続しつつ、事業の選択と集中によりサービスの質的向上を図りたい②今回の評価は、行政評価委員が改善余地のある10事業を選定し、所管課とのヒアリング後、廃止を含む5段階に仕分けをした。1事業が統合、それ以外の9事業は改善が必要との報告を受けている。報告内容を尊重し、可能なものは各種計画や予算に反映したい③来年4月に予定している組織の見直しは、市民ニーズや地域の実情を的確に把握し、柔軟に対応していきたい。



みんなで食べる給食って、おいしいね

幼稚園の給食制度 全園で公平に

【三宅議員】 飯山・綾歌の幼稚園では完全給食を実施しているが、旧丸亀市内では弁当と簡易給食である。以前議会での質問では、「全市的な給食実施は、現在の学校給食センターの供給能力では不可能」との答弁だったが、新学校給食センターの完成により問題はなくなった。すべての保護者が現状を理解し議論するためにも、給食のない旧丸亀市の保護者には給食の是非について、飯山・綾歌の保護者には弁当持参の是非についてアンケート調査を実施する考えはないのか。また、今後どのように制度

の公平化に向けて進めていくのか。
【A 教育部長】 現在教育委員会では、給食と弁当における保護者のニーズ等をさまざまな観点から把握するため、すべての保護者にアンケート調査を実施する準備をしている。その結果等をもとに、多方面から望ましい幼稚園給食のあり方について慎重に検討したい。また、今年度より新センターが稼動し、市全域で幼稚園給食の調理が可能となったことから、給食実施に必要な施設面での受け入れ態勢の整備にも努めている。望ましい幼稚園給食を市内一斉に行うことで、全園児の平等性を確保したいと考えている。

保育所民営化 社協案でどうなる

【B 藤田議員】 ①市立保育所民営化が経費削減の一環として行われれば、保育に対する公的責任が後退する危険が大きい。市は、民営化には保護者の同意を得ることが前提だと言ってきたが、今もその姿勢が変わりはないのか②社会福祉協議会が民営化の受け皿となる社協保育所案が出ている。そうすると公立保育所



一生懸命、何を作っているのかな

と違い、保育士の人件費にロスを生じない効率的な子どもを受け入れという採算面を度外視できない。社協保育所になっても、採算より市民ニーズ優先の保育を維持できるのか。併せて、市が行っている障害児保育も確実に引き継げるのか。

【A 健康福祉部長】 ①民営化の対象となる保育所の公表は、保護者会等との十分な協議を前提としている。今後具体的な協議に入る保育所についても、保護者の理解を得られるよう万全を尽くしたい②民間認可保育園では今でも、厳しい経営環境にもかかわらず、待機児童を発生させないよう保育士の確保や配置などに大変努力している。その状況や社協の経営実績から見ても、

市民福祉を優先し、かつ採算性を両立できると考えている。障害児保育についても、社協との協定書や保護者を含めた三者協議で具体的なことを確認しながら引き継いでいきたい。

飯山地区幼稚園の 将来展望

【C 長友議員】 飯山北幼稚園への

進入路は、大東川広域基幹河川改修事業の工事区域に含まれており、移設を余儀なくされているが、進入路は付け替えることになるのか。あるいは、幼稚園を移転するのか。移転するのであれば、飯山南幼稚園と統合する考えはないのか伺いたい。また、あやうた幼稚園は充実した施設の割には、園児数が少ない。これは、市立幼稚園の通園区域を、旧丸亀、綾歌、飯山南、飯山北の4つに分けていることにも原因がある。保護者の利便性を図り、園の有効利用につなげるためにも、市内全域を1区域にし、どこからでも通えるようにできないのか。

【A 教育部長】 飯山北幼稚園付近の改修工事時期は平成31年度以降になることから、今後県とも十

分協議し、対応していく必要がある。その上で、進入路の付け替えや園の移転、統合など、どういった方法を取るかは、いろいろな観点から検討したい。また、現状では、あやうた幼稚園の園児数は定員に比べてかなり少ない。今後飯山地区での預かり保育の廃止や旧丸亀地区での幼稚園給食の実施により、市内全域の幼稚園で制度が統一できた段階で、通園区域を一つにすることも可能と考えている。



飯山北幼稚園

総合運動公園と 周辺整備計画

■高木議員 丸亀市総合運動公園と周辺整備について、次のことを伺いたい。①本年度で総合運

動公園の多目的広場及びその周辺整備が完了するが、残りの野球場、プール、テニスコートなど施設面の整備予定はどうなっているのか②当初の計画では、総合運動公園から多度津丸亀線へのアクセスとして、原田金倉線を整備することとなっているが、未整備の状況である。公園から北側へのアクセスをどのように確保するつもりなのか。

■A 都市経済部長 ①今年度は総合運動公園のメイン施設の野球場の基本設計に着手する。次年度から実施設計を行い、基盤整備、本体工事に順次取り掛かり、平成26年の完成を予定している。昨年度人工芝にリニューアルしたテニスコートや老朽化が著しいプールなど既存のスポーツ施設の整備については、現在の利用実態や利用者の意見を考慮し、運動公園の全体的な整備計画を見直す中で検討していく②都市計画道路原田金倉線は、総合運動公園と併せて都市計画決定された経緯もある。厳しい財政状況ではあるが、運動公園の事業の進捗よく状況を見極めながら、既存道路の拡幅も視野に入れ、地元に協力いただき、事業の再開を目指したい。



完成間近の総合運動公園多目的広場

交通安全対策に 住民の声を

■三木議員 市民からの要望が数多くある交通安全対策について、次のことを伺いたい。①信号機など交通安全施設の改善や設置要望への対応②先月開通した県道丸亀多度津線で続発する事故の対応策③危険箇所を把握し対応する体制④信号機の点灯時間の調整等各種基準を見直す考え⑤第9次丸亀市交通安全計画の策定について。

■A 市長 ①自治会やコミュニティなどから要望があった場合には、直ちに現場の状況を確認し、地元の意見も聞いたうえで、道路管理者や警察と設置が可能か

どうかの検討をしている②県道多度津丸亀線と市道との交差点については、現地で香川県、丸亀市、警察など関係機関が検討することになっており、地元要望が反映されるよう、関係課に指示をしている③職員による道路パトロールなども行っているが、やはり地元の要望等が一番大切な情報源である。情報提供を有効に活用できるよう、関係機関との連携を密にして推進していく④警察を通して調整できるものは、対応をお願いしたい⑤今後、国や県の計画が作成されたら、それに基づき、市の計画を策定する予定である。

産業振興のため 積極的な施策を

■横田議員 丸亀市が今後の地域間競争に勝ち残るためにも、産業振興、中小企業振興の積極的な施策が必要である。そこで、次のことを提案したい。①企業、行政、市民の役割や関係を明確にし、市内の企業を元気にすることで本市をより豊かで住みよいまちとするための条例の整備②市内の企業家に参加してもらい、現実の経済活動の中で生み



中小企業を支援していきます

出される課題やニーズを拾い上げ、地域産業、地域活性化のためのヒントを政策化する諮問機関の設置③企業家や市民に広く政策提起を募る政策コンテストの実施。

A 都市経済部長 課題や新たな可能性を整理したうえで、現在実施中の施策及び今後新たに取組むべき施策の整理、見直しを図り、本市経済の発展をより一層進めていくためにも、市民、企業者、行政がそれぞれの役割について共通の認識を持ち、協働の下、地域産業の活性化に取り組む必要がある。今後は、産業振興を重点的に取り組める体制づくりを市の機構改革の中で協議するとともに、議員提案の

条例制定、諮問機関の設置、政策コンテストなどについて、他の市の条例や計画、産業振興プランなどを参考にしながら前向きに検討し、準備していく。

塩屋保育所の 新築移転について

Q 倉本議員 塩屋保育所の新築移転については、塩屋及び塩屋北保育所の統合が前提となっている。そこで、次のことを伺いたい。①どのような判断で、市内で初めてとなる統合を進めるのか②統合後は規模の大きい保育所となるが、どう対処するのか③塩屋及び塩屋北保育所の跡地をどのように利用するのか。

A 市長 ①塩屋北保育所は急激に定員が減少し、今後利用者の増加も見込まれず、統合の対象となった。また、塩屋保育所は耐震診断の結果、早急に園舎整備が必要となった。このことから、塩屋保育所の改築工事に早急に着手するとともに、塩屋北保育所との統合が可能な規模となるようにした。新保育所は平成23年度完成を目指しており、課題の駐車場確保や園庭拡張、安全確保等の対策を講じる②園

全体の規模は大きくなるが、クラスごとの園児数が平準化され、快適な環境になると考えている③塩屋保育所の敷地は、一部を前面道路とする以外はすべてを新塩屋保育所の駐車場として整備し、送迎車両の増加に対応できるようにしたい。また、塩屋北保育所については、地域の活性化を含め、総合的に検討し、今後示していきたい。



新築移転が計画される塩屋保育所

マタニティマーク 適用拡大を

Q 内田議員 2006年、厚生労働省が策定した「健やか親子21」の取り組みの一つとして、妊娠、出産に関する安全性と快

適さの確保という項目が挙げられ、一見妊婦には見えない妊娠初期の人に対する配慮の必要性からマタニティマークが誕生した。このマタニティマークの適用期限を出産で終わりとするのではなく、出産後まで拡大すべきと思うがどうか。

A 健康福祉部長 マタニティマークは、国が普及を推進している制度で、市でも、マタニティマークが入ったバッジを作成し、妊娠届出時に配付している。また、市では独自にマタニティマークが入ったマタニティカードを発行している。これは、市内の公共施設や店舗等の車いす用駐車場に、このカードを提示した妊婦が駐車できるようにする



マタニティマーク入りの駐車場看板



高齢者が住みよいまちを

ものである。マタニティカードを使用できる駐車場は、市内の公共施設、医療機関、大規模小売店舗5店舗、丸亀郵便局と限られており、今後は駐車できる場所の拡大が大きな課題であり、かがわこどもの駅設置推進事業の活用など各方面に協力依頼をしていきたい。マタニティカードの利用期間については、出産予定月の翌月末までの延長で検討を進めていきたい。

高齢者への配食サービスと敬老祝金

中谷議員 高齢の一人暮らしや夫婦のみの世帯が住み慣れた地域で自立して生活しようとす

るときに、大きなハードルとなるのが食事である。本市では、社会福祉協議会が弁当を届ける事業を行っているが、利用を希望しても、条件に合わずあきらめる人も多い。そこで、次期の高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定に当たり、配食サービス事業に取り組むことを求めたい。また、今年度初めて事業仕分けの手法で行われた行政評価で、敬老祝金は廃止の方向で検討すべきとの意見が出されている。こんなささやかなお祝いまでも廃止や減額で削るような市政であってほしくないと思うが、見解を伺いたい。

A 健康福祉部長 高齢者への配食サービスのあり方やその他の

本市における高齢者福祉施策全般について、来年度第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画の策定作業の中で、事業の有効性、必要性、また財政負担の影響も含め、慎重に検討していきたい。敬老祝金の行政評価については、市が提供するサービスを客観的に評価したうえで廃止との結論に至ったものと認識している。この結果を重く受け止め、今後慎重に検討していきたい。

丸亀ボート場改築の考え方

片山議員 今議会に、競艇場改築工事費として、約85億円の

債務負担行為の議案が出されているが、本場への来客は増加しない見通しの中で、建物老朽化のための改築費としては余りに高額すぎると今も思っている。この改築により、収益の改善はほとんど期待できないのではないかと。日本経済の先行きが極めて厳しい現状の中で、改築を急がなければならない事情は見当たらない。市民にとって絶対に必要な施設改善ではないと思うが、見解を伺いたい。

A 市長 競艇事業は、都市間競争に勝ち抜く独自財源を生み出すための先人からお預かりした貴重な財産である。この事業を今後も続けていくためには、老朽化したメインスタンドの改築は、これ以上先送りすることが許されない状況となっている。また、厳しい経済環境の中で、取り組みは、なおさらに地域経済への波及効果が期待できるものと考えている。これからも市の財政に寄与し、市民福祉の向



改築工事中の丸亀ボート場

上に役立つ事業として確立するためには、今やり遂げる必要と責任がある。今回取り組み施設改善は、極めてコンパクトで無駄を排した造りにまとめあげている。

小中一貫校及び岡田小学校改築

加藤議員 綾歌地区における施設一体型の小中一貫校建設について、綾歌3地区の意見が総じて消極的なものになったと聞いている。この綾歌地域に小中一貫校をつくることに対して、教育委員会が夢、ビジョン等について十分な説明責任を果たせなかったから、こういう結果になったと考えるがどうか。また、

上

岡田小学校は昭和33年に建てられ、耐震診断の結果も極めて低いが、改築スケジュールはどうなっているのか。

A 教育長 綾歌地区で地元説明を重ねる中で、どこに建てるのかとか、こんな施設をつくってほしいといったことが協議の中心課題になり、施設一体型小中一貫校の目指している教育内容等について詳しく説明する機会が少なくなった。夢や希望をはっきりと住民の方に提示できなかったことについては、深く反省している。また、岡田小学校は耐震補強が困難なことから仮設校舎建設を予定しており、今議会に仮設校舎建設に伴う設計業務委託料の補正予算を提出し、ご審議いただいている。今後については、施設一体型小中一貫校の是非により、施設整備の方向が定まってくるが、地元のみなさんの要望等を十分に聞き、改修改築に生かしていきたい。

学校給食と

食育について

松浦議員 より豊かな学校給食や食育を望む観点から次のことを伺いたい。①給食残菜率の

統計を活用した献立や調理の改善はどうしているのか②給食残菜率の状況をどう考えているのか③食育の重要性が問われているが、具体的な食育の時間の確保とその進め方は④学校と給食センターとの協議はどのようにしているのか⑤食物アレルギー対策の調査、研究者の進捗よく状況は。また、専任者を配置する考えは。

A 教育部長 ①残菜の多かった原因を栄養教諭や調理員が話し合い、味付け、調理方法を変える等残さず食べてもらえるよう努力している②嗜好面と健康面を考慮したうえで、栄養教諭と献立作成者の間で、味、量等、食べやすい給食になるよう努めている③食育の中心となるのは給食であり、食べ物の好き嫌いを減らすため、本市の実情に合った学校給食の提供に取り組んでいきたい④学校給食研究委員会において、意見や問題点を取りまとめ、よりよい献立作成に努めている⑤学校給食食物アレルギー検討委員会において、今年度中の対応マニュアル策定に



ランチルームでの給食

向け、協議を進めている。また、担当する者については、食物アレルギー児童、生徒教等を勘案したうえで配置を検討したい。

行方不明・住所不明者への対応は

横川議員 行方不明者の多発が、今社会問題になっているが、本市の対応を伺いたい。①市民の生存確認、所在確認をどのような手法で対応してきたのか。また、これまで行方不明者等の処理はどのようにしていたのか②高齢者に限らず、障害者から幼児まで様々な手当てが支給されている。その安否や所在確認などの対応については改善が必要と考えるが、今後の取組方針

は。また、生存確認不明者削除の手続きは。

A 市長 ①市民の方から直接申し出る場合と市の各部署が業務を遂行していく中で確認する場合がある。各課の情報や電話連絡、自宅訪問等により、ほぼ所在不明に間違いないと判断した場合は、最終的に市民課において住民票を職権にて削除することになる②市単独年金のように住民票で確認する場合と子ども手当等のように住民票での確認に加えて定期的に現況届の提出を義務付け所在確認している場合がある。いずれにしても、住民票が住民に関する様々な行政の基礎となることから、今後も今まで以上に担当部局間で連携を図り、住民登録と異なる事実がわかったときは実態調査等を行い、所在不明者については職権削除の手続きを進めていく。

放課後子ども教室 拡充の取り組みを

堀部議員 放課後子ども教室は市内17校区のうち4校区、4教室しか開室されていないが、他校区での開室は、高学年の居場所づくりの面から急務である



放課後子ども教室

と考える。そこで、次のことを伺いたい。①運営主体発掘のため、どのように地域へ働きかけているのか。また、年間何教室ずつ増やしていく予定なのか②学校図書館を教室として活用する考えは③保護者へのPRについて、市のホームページや広報紙を活用すべきと考えるがどうか。

A 教育部長 ①事業の趣旨説明

等広く地域に働きかけ、候補となる運営主体との間で十分な協議を行うことで、子どもたちや保護者が安心して利用できるような運営主体を発掘することに重点を置き取り組んでいきたい。

また、あくまで地元主体で進めていくことになるので、現段階では数値目標を掲げていない②放課後子ども教室は、地域での

活動拠点を想定していることや、学校内には既に青い鳥教室があり、両教室を一つの敷地内で行うことは指導員との連絡体制等が整っていないことから、時期尚早と考えている③募集チラシの配布やコミュニティ紙に掲載してもらっているが、今後市のホームページ等に教室の内容等を掲載し、広く事業の周知に努めたい。

本市における 生活保護行政は

Q 尾崎議員 本市における生活保護行政について、次のことを

伺いたい。①憲法第25条に規定する理念に基づき生活保護行政を実施しているか②生活保護受給世帯数の現状は③生活保護世帯の類型内訳は④生活保護新規申請件数の現状は⑤ケースワーカーの配置状況及び一人当たりの担当世帯数は⑥ケースワーカーの専門性を確保し、生活に困っている住民に広く制度を浸透させるべきだが、見解は。

A 健康福祉部長 ①生活保護法

は憲法第25条の理念に基づき制定された法律であり、これを遵守することが憲法の精神に立ち

生活保護行政を実施することになると考えている②平成22年8月末現在で712世帯である③高齢世帯は295世帯、母子世帯は40世帯、障害者世帯は121世帯、傷病者世帯は203世帯、その他世帯は53世帯である④今年度は8月末までで68件である⑤現在8名であり、一人当たりの平均担当世帯は89世帯である⑥ケースワーカーは最後のセーフティネットとしての制度の意義を十分認識し業務に取り組んでいる。専門的な知識を習得するため各種研修会に積極的に参加しており、気軽に相談できる体制づくりや制度の周知にも一層努めていきたい。

競艇場の設計 変更しない理由は

Q 国方議員 競艇場のスタンド

新築工事にかかる屋上緑化について、費用対効果からその必要性がないと考える。屋上を緑化することにより、防水、水道、重量等により、余分に多大な費用がかかることになる。また、それを維持するために大変な労力と費用も必要である。屋上を緑化する箇所は吹き抜け部分で

あり、断熱効果もなく、海からの塩害により長持ちしない。このようなことから屋上緑化についてはやめるよう設計変更をすべきと考えるがどうか。

A 競艇事業部長 スタンド新築

工事に際して、環境にやさしい施設づくりをコンセプトの大きな柱の一つと位置づけており、屋上緑化により空調エネルギーの削減やCO2排出量の削減に取り組むものである。初期費用は、緑化面積1600㎡として約3500万円程度と積算している。この効果により年間電力使用料で120万円程度の削減を見込んでいる。一方、メンテナンス等に要する経費としては年間96万円程度と見込んでいる。初期投資を含めると全額回収は難しいが、温室効果ガス等の排出量の削減効果としては年間2万6000kg程度の削減を見込んでおり、環境保全に対する率先した取り組みとして実施するものである。

議会だよりは、議員の質問の中から1項目を選び、質問・答弁の内容を要約の上掲載しています。



市民の足「コミュニティバス」

生活環境委員会

9月3日の本会議において、議案は各委員会に付託されました。委員会は10日に生活環境、教育民生、13日に総務、都市経済と順次開かれ、市長や副市長をはじめ関係部課長が出席して、細部にわたる審査を行いました。主な質疑、要望は次の通りです。

委員会審査

一般会計補正予算など

各委員会で原案承認

主な質疑

- 安全・安心まちづくり推進事業費の内訳。
- 国民健康保険特別会計の今後の収支見込み。
- コミュニティバスの通学定期券等を新設するに至った経緯。
- 本島汽船所有の旅客船購入がこの時期になった理由。

主な要望

- 今後も辺地対策債を活用し、島内の道路整備をするなど離島の生活水準の向上を図っていた

だきたい。

教育民生委員会

主な質疑

- かがわこどもの駅設置推進事業に対する市の関わり方。
- 父子家庭への児童扶養手当支給拡大を周知する方法。
- 綾歌保健福祉センター運動指導室に設置する運動器具の内容。
- 岡田小学校仮設校舎の内容及び利用期間。
- 城南小学校プール改築の概要、総事業費及び完成時期。

主な要望

- 市の施設でもかがわこどもの駅として活用できる場所を、積極的に探していただきたい。

総務委員会

主な質疑

- 競艇場スタンド新築に係る今

年度補正額1500万円の内容。

- 競艇事業会計債務負担行為補正85億円の内容。
- 競艇場施設改善の設計内容を精査し、経費節減に努める考え。
- 臨時財政対策債に対する今後の考え方。

主な要望

- 競艇場スタンド棟新築工事の入札は、共同企業体を組むなど市内業者を優先していただきたい。

都市経済委員会

主な質疑

- 今後の消防ポンプ自動車の購入予定及び現在の保有台数。
- 消防署及び消防団に購入する消防ポンプ自動車の違い。
- 用途廃止することになる市営住宅の建築年。
- 公営住宅の適正戸数に対する考え。

委員会も傍聴できます

詳しくは議会事務局まで。

(☎ 24-8828)

議会を 傍聴しませんか

みなさんが選んだ議員の活動や、行政が今どのようなことを行っているかを



知っていただくため、本会議など議会の傍聴をしませんか。

会議の当日、本館2階傍聴受付で手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。

詳しくは議会事務局まで。

(☎24-8828)



本会議を傍聴する市民のみなさん

議会中継

本会議は中継ケーブルビジョ

ご案内

次回の定例会は
12月上旬に開会
予定です。

平成6年以降の旧丸亀市と、合併後の丸亀市の会議録が検索できます。



議会だよりに掲載された事柄以外の質問や答弁の内容について詳しく知りたい方は、パソコンからインターネットを通じて、「丸亀市議会会議録検索システム」を開き、会議録の検索や閲覧を行ってください。

会議録をホーム

ページで見られます

ン(CVC)で生放送しています。また、同じ日の午後6時から再放送していますので、ぜひご覧ください。

平成22年9月定例会 審議した議案とその結果

認定第1号	平成21年度丸亀市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について	(特別委付託)
認定第2号	平成21年度丸亀市水道事業会計決算認定について	(特別委付託)
認定第3号	平成21年度丸亀市競艇事業会計決算認定について	(特別委付託)
議案第62号	平成22年度丸亀市一般会計補正予算(第2号)	(原案可決)
議案第63号	平成22年度丸亀市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	(原案可決)
議案第64号	平成22年度丸亀市介護保険特別会計補正予算(第1号)	(原案可決)
議案第65号	平成22年度丸亀市競艇事業会計補正予算(第1号)	(原案可決)
議案第66号	丸亀市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について	(原案可決)
議案第67号	丸亀市保健福祉センター設置条例の一部改正について	(原案可決)
議案第68号	丸亀市コミュニティバス運行条例の一部改正について	(原案可決)
議案第69号	丸亀市市営住宅設置及び管理条例の一部改正について	(原案可決)
議案第70号	丸亀市火災予防条例の一部改正について	(原案可決)
議案第71号	丸亀市民会館条例の一部改正について	(原案可決)
議案第72号	総合整備計画の策定について(香川県丸亀市本島町辺地)	(原案可決)
議案第73号	総合整備計画の策定について(香川県丸亀市広島町辺地及び香川県丸亀市広島町小手島辺地)	(原案可決)
議案第74号	物品の購入について(消防ポンプ自動車CD-I型(消防署))	(原案可決)
議案第75号	丸亀市手数料条例の一部改正について	(原案可決)
議案第76号	丸亀市火災予防条例の一部改正について	(原案可決)